

様式3

指定管理業務 事業評価書(市及び指定管理者作成)

平成28年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市宮釣場 神扇池
施設所管課	建設経済部 商工観光課 (内線593)
指定管理者名	サンワックス・都市管理サービス共同事業体 (報告：代表企業 ㈱サンワックス)
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(2期3年目 ※通算8年目)

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履 行 の 確 認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1) 職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	4	4
	(3) 利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	3	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2) 利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	4	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2) 清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	4	4
	(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1) 指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2) 自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2		
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1) 記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	4	3
(2) 経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3) 意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
Ⅱ サービスの 質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3	
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか	3	3	
		備品などの設備の維持管理は適正であるか			
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3	
	4 指定事業・自主事業				
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	
(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3		

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ のサービス 安定性	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	4	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	77 96	74 96

総括	指定管理者の自己評価	<p>H28年度、代表団体：㈱サンワックスとしては、再指定後2期目・3年目（通算8年目）の運営となります。共同事業体による指定管理者として、基本協定書や管理業務仕様書に基づいて管理運営業務を行いました。㈱サンワックスは施設運営全般、大会・イベント等の企画開催を担い、構成企業の都市管理サービス㈱は維持管理全般を担い、施設修繕等の対応も臨機に行い、利用環境の整備に努めました。</p> <p>H28年度の入場者数は、前年度 36,460人に対し、8.6%減の 33,331人（-3,129人減）の利用状況となりました。入場料収入についても、H28年度の入場料収入は、前年度 43,734,911円に対し、8.4%減の 40,055,549円（-3,679,362円減）となりました。加えて、前年度と比較した経費支出の増（約77万円増）として、修繕費：フォームジェットオーバーホールの機能改善、人件費：最低賃金アップ等の要因もあり、経常損失という結果となりました。</p> <p>【年間利用者数のデータ検証】  「平日」「土日祝日」で分けて、前年対比を見ると、平日は前年対比7.3%減の 16,257人、土日祝日は前年対比9.8%減の 17,074人となりました。  「利用区分別」構成比を見ると、「一般」利用は 前年対比9.0%減の 25,811人、「大会」参加は 前年対比15.1%減の 675人（大会開催は6回計画のところ、荒天により5回となる）、「女」利用は 前年対比17.5%減の 400人、「年間会員」利用は 前年対比4.8%減の 4,050人となり、全区分において前年数値を下回る結果となりました。</p> <p>人数のみを比較すると、指定管理者制度を導入したH21年度からH27年度までの年間入場者数の平均は 31,935人であり、過去実績と比較すると一定水準を達しています。但し、運営面での健全性を確保するためには、34,000人～35,000人程度の利用者数の確保が肝要であり、また経費支出についてもさらなる見直しが必要であると考えております。</p> <p>神扇池は屋外施設であり、利用者数に大きな影響を及ぼす外部要因として、「天候」「風」の影響があります。H27年度は天候に恵まれ、風の影響が少なく、利用者数にも反映されました。（ウキが読めないため）釣りの環境としては「風」の影響が大きく関わります。</p> <p>利用者減の要因が外部要因のみにあるわけではありません。そのためにも利用環境を向上するための取り組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟周辺の整備：利用者動線の整備（砂利・人工芝の設置など） 侵入防止柵の取替え、花壇・花植えなど</li> <li>・管理スタッフ研修：コンプライアンス・個人情報保護・接客マナーなど</li> <li>・池の環境維持など：年間総量 10 t のへら鮒を放流 水質維持（マゾテンの適切な散布など）</li> </ul> <p>大会・イベントの開催は、これまでの方針に基づき「利益優先ではなく、安全に配慮するとともに、まずは参加をしていただいた皆様楽しんでいただくこと」を最大の目的としています。「大会開催」は年間6回を計画していましたが、荒天（大風）の影響により、残念ながら2月の「底釣り大会」は中止をさせていただきました。</p> <p>各大会開催時に参加申込みをした方には参加チケットに「試釣割引券（利用券500円割引）」を進呈していますが、利用促進への良い流れは継続できていると考えています。</p> <p>へら鮒釣り専門誌への広告掲載、神扇池に来場された雑誌社への取材協力に努めています。へら鮒釣り業界との関わりとして、インストラクターやプロとの協体制度は必須であると考えております。今後も運営上の課題を考える中で、「広報・アウトリーチ活動」の強化には継続して取り組んでいきます。</p> <p>天候影響に大きく運営が左右されることは過去からも継続される課題です。指定管理者として施設の設置目的の達成に適うよう、今後もお客様へのサービス向上と、施設環境の整備・維持について、運営体制の向上に努め、健全経営を目指してまいります。</p>
	施設所管課の評価	<p>基本協定及び仕様書に則して良好な管理が行われている。また、大会・イベントの開催を積極的に実施し利用促進を図ることや、アンケート結果については評価できる。しかし、年間の利用者数については、平成21年の指定管理制度を導入以降の年間利用者数の平均と比較しても一定の水準に達しているが、平成27年度と比べ減少しており、天候もあるが、さらに利用促進に努めてもらいたい。</p>

総合評価	区 分	S
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である）
	A	良好に施設を管理している。（評価点数がすべて3以上である）（上記以外）
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。（評価点数に2が含まれている）
	C	改善を要する管理運営状況である。（評価点数に1が含まれている）